



理事会の冒頭あいさつする佐藤四郎会長

第1回通常理事会を開催

総会議案など6議案審議

平成22年度第1回通常理事会は5月31日、東京・千代田区の弘済会館で開催した。理事会では、平成22年度通常総会議案や総支部長及び支部長の承認など、4議案を審議したほか、要望活動についての報告などが行われた。

理事会は冒頭、佐藤四郎会長が挨拶。佐藤会長は、「世界経済も少し上向きに転換しつつあるが、公共事業の縮減等建設業を苦しめる境はまだ厳しい状況が続いている。こうした中、平成22年度には、公共事業に大きな変化があり、国土」

交通省は、従来の道路、河川、都市公園等の事業、補助金配分が変わって、地方公共団体が、より創意工夫を發揮でき、自由と効率的に使える「社会資本整備総合交付金」制度を創設し、社会資本整備の基幹となる事業とともに関連して

必要となる事業や効果を高める事業を一体的に実施できるものとなった。私達もキメ細かな環境整備がもつと進展するよう、提案型の企業となつて地方公共団体とともに進むことが、造園建設業の活動領域を広げる良いチャンスになる。厳しい

い時代を乗り切るため、会員一同が団結し、「環境の世紀」において、他産業との技術的な違いをアピールし、多くの人々に造園建設業を理解していただくことが大切と考えている。そのため、活動の優先度を見極め、昨年に続き、幹部が支部を訪問して交流会を開催し、意見交換を深めるなど、積極的な活動を展開していきたい」との旨を述べた。

来賓からは、国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課の柳野良明緑地環境室長が祝辞、日造協の日頃の活動への謝辞、「公共事業については、より効果的な事業を行うため、配分していくことになる。このため、各地域でみどりへの関心を高め、地域の環境にあった提言をしてもらうことが重要になる。地方においても名古屋の緑化地域制度など、さまざまな施策が進められ、また、民間部門でも多様な取り組みが進められており、造園の活躍の場や果たす役割も増えている。今後、品質確保は重要な役割になり、その役割が日造協会員に期待されている」と述べた。

その後、議事では4議案を審議、承認し、報告事項の説明などが行われた。

建設マスター顕彰式典開催 当協会から10氏顕彰

人材対策優秀取組企業顕彰 常磐開発が局長顕彰

「優秀施工者国土交通大臣顕彰者(建設マスター)の平成22年度顕彰式典が5月27日、東京・港区芝公園のメルパルクホールで行われ、日造協会員企業から10氏が顕彰された。

また、併せて行われた「建設産業人材確保・育成推進協議会人材対策優秀取組企業顕彰」では、常磐開発(福島県)が総合政策局長顕彰、従業員の子育て支援のための父親出産時休暇や育児休暇の取得推進、能力向上のモチベーションの観点から、各従業員の業務目標を評価した賃金等への反映、国家資格取得に係る報奨金の支給が評価された。

式典では冒頭、国土交通大臣(小澤敬市)国土交通省大臣官房建設流通政策審議官代読)が、「日本の国土は、人の技術と技能に支えられている。建設マスターとして受賞される方々は、現場の第一線で活躍され、まさにものづくりの名人であり、人づくりの名人でもある。今後も一層のご活躍をいただきたい」と挨拶した。

その後、優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員のマリ・クリスティーヌ氏、建設産業人材確保・育成推進



日造協の建設マスター受賞者、佐藤会長と表彰式典前段で記念撮影

樹林

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

今回の植樹祭のテーマは、「森が育むあなたの心 森を育むあなたの手」。そして、植樹祭には、さまざまな人たちの姿がみられました。みどりは、心身を育み、いろいろなものを結び付けてくれます。そもそも多くの生きものがみどりなしには生きられないから、

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

みどりづくりはひとづくり 人々の心にも植樹を

グリーンアドバイザー 東京理事 岩谷登代子



「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

「第61回全国植樹祭2010かながわ」が5月23日、神奈川県南足柄市の足柄森林公園と秦野市の神奈川県立秦野戸川公園を会場に、天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、その様子がテレビで放映されていました。お手植えのお手伝いは、みどりを守る活動を通し、人や社会を大切にすることを育むと組織されたみどりの少年団の子どもたちで、つい先日退院したばかりの私は、この日はベットのうえで。花や緑にかかわり、動き回る方が好きですが、しばらくはお休みです。

お知らせ

平成22年度
通常総会
講演会・懇談会
6月22日(火)
14:30~

グランドアーク半蔵門
東京都千代田区隼町1-1
☎03-3288-0111

多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています

設計と施工の連携を促す設計施工同時発注方式

千葉大学大学院園芸学研究所教授 藤井 英二郎

設計と施工の連携は、ど
とが技術的特徴であり、施
の建設分野でも必要なこと
であるが、とりわけ造園で
重要なことは多くの人が指
摘しているところであ
る。
つまり、整備対象地の自
然を可能な限り保全するこ
とが技術的特徴であり、施
工時になつて初めて明らか
になるような立地条件を尊
重する姿勢が造園技術の基
本にあるため、設計変更が
頻繁に起こりうる。
また、構成要素が植物や
自然石など画的でないた
め、設計時に想定した材料
がそのとおり調達できるこ
とがほとんどない。
さらに、成長する素材を
なると、構成要素が植物や
自然石など画的でないた
め、設計時に想定した材料
がそのとおり調達できるこ
とがほとんどない。
さらに、成長する素材を

体制になり、官公庁の担当
者は専ら予算獲得や監理業
務を担当することになる。
この体制で前述した設計・
施工・管理の連携を保証す
るためには、同じ担当者が
計画から管理まで終始一貫
して担当する必要がある。
ところが官公庁における
一部の担当期間は2、3
年が一般的であり、当然監
理は事務的になりがちであ
る。
このような体制の中で、
冒頭に述べた造園の技術的
特徴を維持するためには、
設計、施工、管理の連携を
保証する新たな仕組みを付
加する必要がある。

地域特性を活かした副業のすすめ

静岡県支部 西島弘一郎 (株)愛樹園

静岡県は歴史をさかのほ
ると、東より伊豆の国・駿
河の国・遠江の国の3地区
より成り立っている。ほぼ
現在の東部地区・中部地区・
西部地区であり、3地区は
それぞれ地形的特徴を有
している。急峻な山々を抱
える伊豆、市街地が静岡駅
を中心比較的コンパクト
にまとまっている駿河(静
岡)、天竜川河口に広大な
平地を有する遠江(浜松)
である。

当社は、伊豆半島東海岸
の熱川温泉の近隣に位置
し、周辺はミカン園が広が
り、静岡県は、平成18年度よ
り10年計画で「森の力再生
事業」に着手した。この事

り後背地は天城連山までつ
づく山林である。風光明媚
な伊豆半島であるが、近年
観光客の減少と景気の低迷
に伴い企業の保養所、研修
センター閉鎖、個人別荘の
放棄等に伴う造園建設工
事、管理工事の縮小と、官
庁工事の減少は甚だしい。
このような現状を踏まえ、
このような現状を踏まえ、
当社の地域性を考え、蓄積
した技術を生かし事業展開
ができる分野として森林環
境整備事業に着目した。
静岡県は、平成18年度よ
り10年計画で「森の力再生
事業」に着手した。この事

が得られたら静岡県の所轄
農林事務所、森林所有者、
事業者の3者で整備後の適
正な管理等を定めた協定書
を取り交わした後、静岡県
が行う申請書の精査、現地
確認を経て作業の着手とな
る。この様に所有者の承諾
を得ることに始まり県の指
導、指示を受けながら事業
全体を事業者(施工者)が
主体で作業推進すること
にある。ちなみに、作業費
の100%が補助対象と
なる。
事業者である我々が自ら
造り上げる仕事であるの



作業状況(着工前)①、竣工②

で、日造協が進める、創注
事業の一環と言える。
作業状況について

平成21年度事業として、
近隣の財産組合所有の13・
6haの整備が完了した。財
産組合との調整現地測量、
申請書類の作成、作業路等
の開削、間伐作業、実績報
告書の提出まで概ね2カ月
半を要した。

今後の課題
1. 作業員の技術力の向
上(1日当たりの伐倒本数)
2. 伐倒材の有効活用(利
用間伐)に向けての研究
3. 所管行政と協働して、
美しく整備された森林を活
用した森林浴等の観光資源
としての森林の活用につ
いての研究

設計内容が施工者に十分
伝わるように設計図書の方
式が基本とされており、そ
の適用は技術的に高度で特
殊な事例に限定されている
必要がある。
ただ、公共造園の発注者
である官公庁に技術職員が
いて、設計図書に著作権が
認められていない現状で
は、設計監理は官公庁担当
者が担うのが建前であろう
から、設計監理業務の制度
化は容易でないであろう。
このような現状において
考えられるのが、設計・施
工の一括発注方式や同時発
注方式である。
前者は、いわゆるデザイ
ンビルドであるが、日本の
場合、設計施工分離発注方
式が基本とされており、そ
の適用は技術的に高度で特
殊な事例に限定されている
必要がある。

この分野が他団体と造園
業者の差別化を図れる分野
であると考える(監督官庁
の理解及び現場の作業効率
を考えると労力を要する事
業の)

力が高める必要があり所有
者による整備が困難で緊急
に整備が必要な森林
整備内容①人工林再整
備(a一般型:放置された
スギ、ヒノキ林、b森林災
害対応型:台風等により倒
木となった森林)、②竹林
広葉樹林等再整備:放置さ
れた竹林広葉樹林の整備
(静岡県森の力再生事業の
あらしより抜粋)

参考文献:1)ランドスケ
プ技術研究会(2001)造
園空間整備における設計・施
工・管理のあり方に関する提
言、ランドスケープ研究3
(4)332-336 2)萩野一彦・藤
井英二郎(2009)造園空間設
計・施工連携型プロセスとし
ての「設計・施工同時発注方
式」に関する考察、造園技術
報告集2008-2009 3)大野泰資
(2008)公共工事における入札
契約方式の課題、会計検査研
究27-159-174

森づくり県民税とは
納める人:県内に
住所がある人等、法人:県
内に事業所等がある法人
(年額千円~4万円)
期間:平成18年度から
5年間(税導入から5年後
に見直し)
森の力再生事業とは
期間:平成18年度から10
年間
対象森林:森林の保水能
力が高める必要があり所有
者による整備が困難で緊急
に整備が必要な森林

整備内容①人工林再整
備(a一般型:放置された
スギ、ヒノキ林、b森林災
害対応型:台風等により倒
木となった森林)、②竹林
広葉樹林等再整備:放置さ
れた竹林広葉樹林の整備
(静岡県森の力再生事業の
あらしより抜粋)

造園建設業への 地域の特性、造園の知恵と技術、

特集

日本の将来人口は2005年以降長期にわたり減少が続き、総世帯数もピークとなる2015年の5060万世帯から2030年には4880万世帯になると推計されている。

家族構成も単独世帯やひとり親と子から成る世帯が増加する傾向にあり、2030年には単独世帯が全体の37.4%を占め、平均世帯人員は2.27人となるといわれる。

世帯総数の減少や近年の景気後退による可処分所得

本格的な日本庭園が海外で造られたのは、1873年に開催されたウイーン万国博覧会で明治政府が出席した神苑風庭園であった。その後開催された万国博覧会にも日本庭園が展示され、19世紀末から欧米でのジャポニズムブームを引き起こし、個人庭園や商業施設の中にも数多くの日本庭園が作庭されることとなる。

日本造園学会の調査によると、海外に日本の造園協力により作庭され公開されている日本庭園は、国際博覧会、国際機関・在外公館、海外の公的機関、自治体や企業・団体による贈呈などで設置されたものが世界各地に400カ所以上、北アメリカだけでも250カ所以上が現存している。

しかし、残念なことに多くの庭園では、作庭の由来や当初の設計意図が受け継がれることなく、日本庭園の管理に必要とされる剪定技術や手法が無のまま管理されることにより、良好な状態を保っているとは言えない。

良好な庭園管理の方法や日本からの協力の可能性などについて昨年来継続的な意見交換を行ってきた。

今年3月には、北アメリカにおける日本庭園支援ネットワークとして、日米関係者による継続的な情報交換の場を設立するため、カリフォルニア大学のポートランド日本庭園の理事が日造協を訪問し、学ロングビーチ校のアメリカン Japanese Garden Initiative (NAJGI) (北アメリカ日本庭園主導者会) の設立準備会が東京で開催されることとなった。

今回の準備会議は、日米

の日本庭園研究者、造園家、日本庭園管理者、造園技術者、造園関係組織によるコンソーシアム設立推進1年目の活動として開かれた。

ル・バインズ・ミラー日本庭園、オレゴン州ポートランド日本庭園が協力し、国際交流基金、米日財団が見交わされた。

今年3月には、北アメリカ

「ガーデンングサービスの提供」という調査結果を見ても、庭と緑は快適な住環境に欠かすことのできない要素であり、家と庭があつてこそ社会の最小単位としての家庭が成立する。

庭園的発想の住環境創出提案を建築家や住宅関連産業と連携させることで、造園の新たなビジネスチャンスとできるだろう。

公共事業、建設投資の減少を嘆いているヒマはない。チャンスは女神に後ろ髪はひかないのだから。

庭師と言っていただけ人間ではない。「にわ」という環境空間に憧れを持つ学生を十年、教師になって五十年を経ただけの人生である。

しかし、「にわ」という言葉ほど、今の我々が直面する活動領域を表現し尽くすものはない。わだつみのにわ(自然)、まなびのにわ(文化)、また、まつりのにわ(社会)、人間と自然が交流し、共生する場がある。

文の文化から「にわ」の源流に思いを馳せた。

七十歳からは、地球の生態系から「にわ」の原論を求めようと思つて、四十年前に公開した環境修景論序説を見直し始めている。

この見直しに限られた余命の内には、それまでに、その摂理を原理とした「にわ」が庭園や公園であるにせよ都市や地域、或いは国土を対象とするにしても、万人に自分自身が地球生態系の一分子として、この青い星に他の生物と生きる歓喜を保ち続け得る拠点が創出されねばならない。

「それは日造協の将来にかかわる課題でもあろう」と思つた。昨今である。

NAJGIから当初3年間の活動計画等が提案され、ネットワークのあり方、技術的継承や管理システムの構築など日造協会員の技術提案のヒントにもなり得る取り組みであることも、日米から発信する世界的な日本庭園支援ネットワークへの展開も考えられ、日造協会員にとっては、日米間の信頼できる技術情報交流ネットワークを構築し、海外の最新情報取得するだけでなく、新たな海外進出や海外との技術交流のチャンスとすることも期待できる。

NAJGIに参加することは、日本国内での庭園管理の技術継承や管理システムの構築など日造協会員の技術提案のヒントにもなり得る取り組みであることも、日米から発信する世界的な日本庭園支援ネットワークへの展開も考えられ、日造協会員にとっては、日米間の信頼できる技術情報交流ネットワークを構築し、海外の最新情報取得するだけでなく、新たな海外進出や海外との技術交流のチャンスとすることも期待できる。

NAJGIに参加することは、日本国内での庭園管理の技術継承や管理システムの構築など日造協会員の技術提案のヒントにもなり得る取り組みであることも、日米から発信する世界的な日本庭園支援ネットワークへの展開も考えられ、日造協会員にとっては、日米間の信頼できる技術情報交流ネットワークを構築し、海外の最新情報取得するだけでなく、新たな海外進出や海外との技術交流のチャンスとすることも期待できる。

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

海外の日本庭園管理に協力を

住宅産業のニューパラダイムを造園ビジネスに

アメリカの平均商品価格は3000万円超といわれ、土地と合わせた購入価格帯にはマッチしない。

日本の一大産業に成長した住宅産業は、住まいの量的充実と質の向上に大きく貢献してきた。

しかし、住まい手の要望をかなえるために、敷地

平均125㎡であり、アメリカは別にしてドイツやフランスなどヨーロッパの住宅と比べあまり差はない。

小さな敷地にも大きな家を望む施主に対し、工場生産による規格化住宅を一式

はい住まいもまた求められているのかもしれない。

一戸建てマイホームの購入の決め手の9位は「設計次第で庭をもてるか

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し

その土地の風景や風土を意識し地域の素材を活用し



緑 滴

学会の目・眼・芽

第13回

覚えている方は少ないかもしれませんが、今から10年前の1999年9月21日、台湾中部地域をM7.3の大地震が襲いました。24000人を超える死者と10万人が一時避難生活を余儀なくされるという大災害となりました。

その際、阪神淡路大震災から5年後ということもあり、わが国からさまざまな支援や専門家調査団が派遣されました。造園界でも調査が実施され、私も、その一つである財都市緑化技術開発機構公園緑地防災技術共同研究会が結成した調査団の一員として加わりました。今年、10年の区切りということで、もう一度復興状況を調査する計画となっています。

その10年前の話で恐縮ですが、当時の調査団は、一週間ほどの短期間でしたが、被災時の緑とオープンスペースの果たした役割、復興計画における公園緑地の位置づけなどを調査できました。さらに、中華民国造園学会を中心とした造園関係者との意見交換会を通じての情報、技術面の交流がきわめて有意義なものであったことを記憶しています。台湾の若手の学生や公務員、造園関連の会社の方などからのさまざまな領域にわたる質問攻めに合ったわけですが、

災害時の国際協力、交流に必要なのは造園界の連携

が、それだけでなく、阪神淡路大震災の復旧、復興に係る教訓を熱心に研究調査しており、例えばすでに神戸では社会問題化しつつあった仮設住宅での高齢者の自殺、孤独死等被災者の心のケアに配慮した仮設住宅団地の質の高い居住環境づくりや、いわゆる協議会方式に代表される「住民参加によるまちづくり」の試みなど、日本側からの技術協力という一方通行ではなく、ある意味で阪神淡路大震災を教訓とし、日本ではできなかった試みを教えられることが多々ありました。そこから得た収穫はたいへん大きなものであり、わが国の公園緑地の防災技術の発展に寄与するものであると思えます。

しかし、政策、施工、施設設備、計画設計、管理運営など造園界のさまざまな技術分野の専門家や構成される総合的な調査団を組織することは簡単ではありません。さらに、被災調査や災害時技術協力は、迅速さが求められます。そのためには、常日頃から造園界全体で情報交換と人的連携を深め、災害が発生したときにすぐに調査団を派遣できる体制を築きあげておくことが必要です。中華民国造園学会が中心に台湾の造園に携わる多くの団体で開催された意見交換会は、震災3カ月後にもかかわらず、周到に準備され、内容のレベルも高く、百名を超える参加者による意義の深い国際会議となっており、台湾の造園関係者の連携と対応の速さに驚いたことを記憶しています。

学術的な支援協力や被災調査体制づくりに関しては、まずは日本造園学会が先頭に立つてすすめることが必要ではないかと考えています。しかし、すでに述べたとおり災害に対応する技術は未知の部分が多く、さまざまな専門技術者の総合的な視点が必要です。造園建設の現場で活躍している造園建設業界の皆様の協力をお願いしたいと思います。

斉藤 庸平
(社)日本造園学会理事、兵庫県立大学大学院教授

口蹄疫に関する

支部の取り組み

宮崎県支部

口蹄疫の発生が確認されて1カ月が経過した現在(5月26日)、感染の疑いのある牛や豚の箇所累計は218カ所、殺処分対象は約15万2千頭となり、各種集会の中止、県高校総体の一部競技無期延期等、宮崎県内は激震の真只中となっています。

宮崎県支部では、知事の「口蹄疫」非常事態宣言に伴う各市町村の依頼に応じ、感染拡大防止の為に、各種ボランティアを実施していますので、具体例をご紹介します。

宮崎市では、各地の消毒ポイントで動噴による車両消毒に従事しています。夏用作業着の上には防護服、長靴、ゴーグル、手袋



防護服やゴーグル、手袋を着用し、消毒液を噴霧

また、何時終息するのかわからないボランティアクラス等には1台にとっても時間が掛かり、なかなか大変です。特に日中は暑さもあり、体力的にきつい作業から今後支障が出てくるものと、懸念しています。

「緑」関連ではありませんが、宮崎県支部としては、県の非常時という事で、会員一丸となってこの難局に対応していきたいと思えます。

(支部長・徳地信一)

大阪府優秀技能者表彰「なにわの名工」を田中明男氏(株)田中造園土木代表取締役が受賞。造園業界初のなにわの名工が誕生した。造園初の受章者となった田中氏は、イベントにおけるインドアガーデンの設計・施工に優れた技能を有し、根柢連結による高木の支持固定を提案「客土ゼロ現場」を達成するなど、大規模で迫力のあるインドアガーデンを多年にわたり創り出し、普及と需要拡大を図ってきた。

日造協 田中明男氏が受章

を応用した庭園樹の縮小、育成による庭園景観の回復に努め、堺市大仙公園日本庭園の景観回復を短期間で行い、高い評価を得ている。さらに、適切な指導にも定評があり、日造協「街路樹剪定士」では、平成11年度から選抜。以来、府下の認定に関わる講師や審査に努め、現在は大阪府支部主任指導員として、他府県の「街路樹剪定士」認定にも審査員として関与し、資格更新においても講師を務めるなど、幅広く活躍されている。

また、切戻し透かし剪定

委員会の活動

(社)日本造園学会全国大会のポスター展示コーナーで、平成21年度第36回全国造園デザインコンクールの入選作品を展示した(写真)。



総務委員会

- ①平成22年度第1回 通常理事会提出議案、②旅費規程の運用、③総務委員会の今後の検討課題、④「業界実践スローガン22」の選考について 審議した。(5月24日)
- 総務委員会財務部会
 - ①平成21年度事業報告(本部)、②平成21年度決算報告、③平成22年度収支予算(案)、④平成22年度事業計画(案)(本部)について審議した。(5月19日)
- 総務委員会広報部会
 - 広報事業のあり方、広報日造協5月号、6月号について検討した。(5月11日、6月7日)

三住オートリース



当社は、「仕事で使う車はリースが断然有利」との信念のもと、全国の造園業・植木生産業の皆様へ支えられて、緑化事業者の皆様とともに歩んでまいりました。どこよりも格安のリース料金でご利用頂けることを第一に、そして、信頼こ

そ最も大切な品質とサービス。だと考えています。軽トラックからダンプ・クレール車など全てのメーカーと全ての車種を取扱っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。..... 東京都八王子市元王子町3の2440の1、 ☎ 042-629-1375

事務所移転

日造協滋賀県支部事務局 6月1日より移転 移転先 〒2529-14 21、滋賀県東近江市五個荘竜田町627の2、 ☎ 0748-48-4360、 FAX 0748-48-4360、 Email: shiga@alc.or.jp (変更なし)

事務局の動き

- 5月
 - 6(木) 運営会議
 - 7(金) 大阪府支部総会
 - 10(月) 世界と日本の生物多様性総合評価発表記念シンポジウム
 - 11(火) 総務委員会広報部会 国土交通省関東地方整備局要望 国際バラとガーデニングショー開会式
 - 13(木) (社)日本公園緑地協会 全国大会(14日)
 - 17(月) 子どもの遊び場の安全に関するシンポジウム実行委員会
- 6月
 - 18(火) 監事監査 全国建設産業教育訓練協会総会 (社)日本公園施設業協会総会
 - 19(水) 総務委員会財務部会 (社)日本水景協会総会 神奈川県支部総会 (社)日本造園学会全国大会 (24日)
 - 20(木) グリーンウェーブ2010 (みどりの愛護のつどい) (兵庫県立三木総合防災公園)
 - 21(金) 総務委員会(全国) (社)日本運動施設建設業協会総会 (財)都市緑化基金理事會
 - 22(土) 埼玉県支部総会 (財)公園緑地管理財団 評議員会 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会総会
 - 23(日) 四国支部総会 (財)全国建設研修センター評議員会 (社)日本公園緑地協会 1評議員会
 - 24(月) 総会 東京都支部総会 運営会議 緑の環境デザイン賞表彰式
 - 25(火) 日本造園組合連合会総会
 - 26(水) 埼玉県支部総会 (財)公園緑地管理財団 評議員会 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会総会
 - 27(木) 四国支部総会 (財)全国建設研修センター評議員会
 - 28(金) (財)建設技術者センター 1評議員会 (社)日本公園緑地協会
- 7月
 - 1(火) 日本の景観とまちづくりを考える全国大会 (社)建設産業専門団体連合会総会
 - 3(木) 登録造園基幹技能者 特別講習会(東京)
 - 4(金) 造園・環境緑化産業 振興会事務局会議
 - 7(月) 総務委員会広報部会
 - 9(水) 資格制度検討会議
 - 10(木) 登録造園基幹技能者 特別講習会(東京)
 - 11(金) (財)都市緑化技術開発機構通常理事會
 - 14(月) 東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010 報告会
 - 18(金) (財)建設業適正取引推進機構評議員会
 - 22(火) 平成22年度通常総会 臨時理事會
 - 24(木) (財)日本造園修景協会 理事會